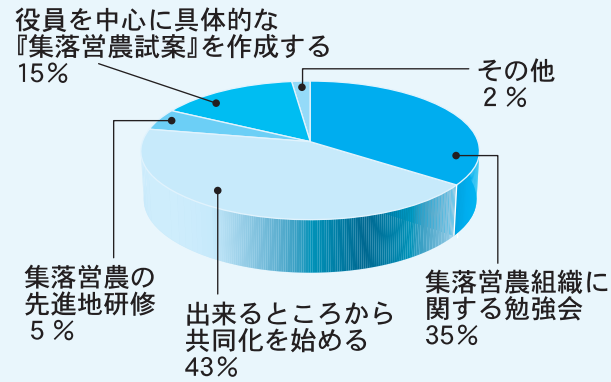
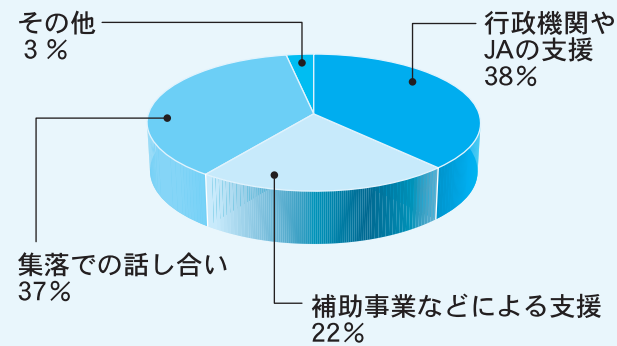


○あたなの地域で集落営農組織を設立する場合、大事と思われることは何ですか？



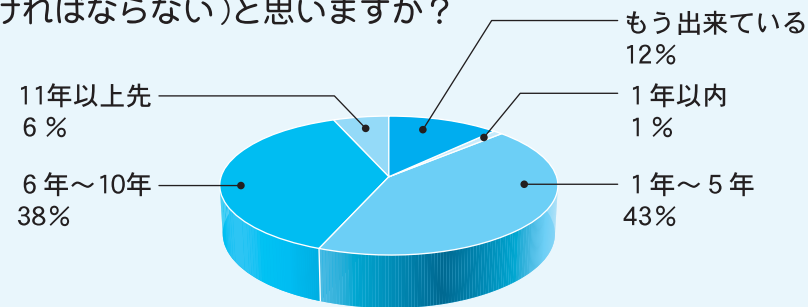
- 『その他』の内容
- リーダーを育成していくこと
 - 全員による集落営農への参加
 - 定年後就農の村づくり
 - 農機具類のリース事業

○集落営農組織の設立を進める上で一番大事なことは何ですか？

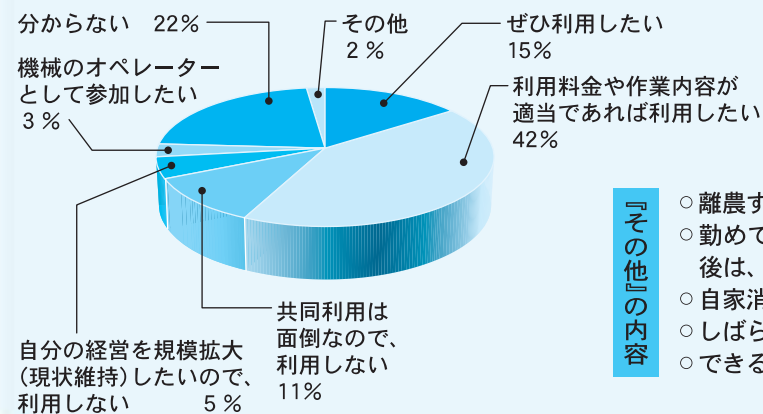


- 『その他』の内容
- リーダーの存在
 - 組織のビジョンが必要である
 - 町・県・国が中山間を含む山林・農地を守る方針を打出すべき
 - 後継者の存在

○あなたの地域の集落営農組織はいつごろまでに出来る(作らなければならない)と思いますか？



○今後、担い手不足や農地の有効活用、機械費負担の軽減のため、地域内で「農業生産組織（地域営農組合、機械利用組合、作業受託組織など）」を設立することになれば、あなたはどうしますか？



- 『その他』の内容
- 離農する
 - 勤めている間はスタッフとして参加したい。定年退職後は、本格的に参画したい
 - 自家消費だけなのであまり考えてない
 - しばらくは現状を維持しながら様子を見て判断したい
 - できるだけ自作したい

和水町担い手育成総合支援協議会では、本町農業の維持・発展を図るため、土地利用型農業を支える地域営農組織等の育成・確保に重点をおき、支援を強化していく考えです。

地域営農組織等について学びたい集落には、職員が出向き説明を行います。お気軽にお問い合わせください。

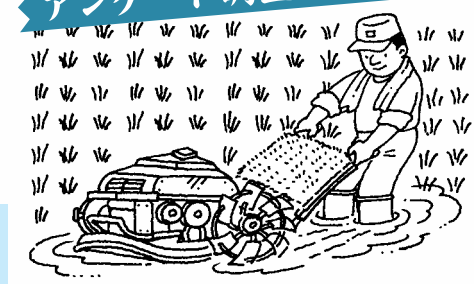
問い合わせ先 本庁 経済課 農業振興係 ☎0968・86・5725

和水町農業の将来は!?

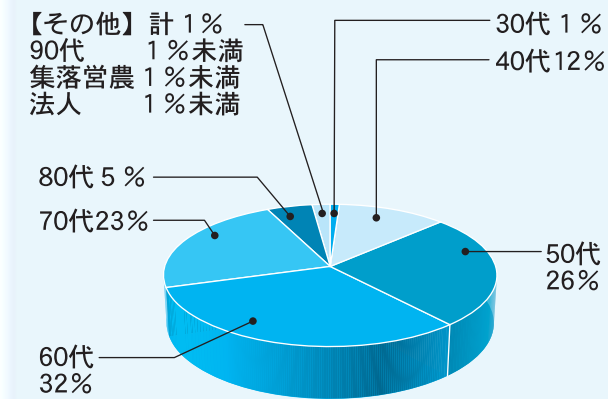
昨年12月に実施しました「平成23年度担い手空白地域解消支援事業アンケート調査」につきましては、水稻作付け農家の皆様のご協力をいただきありがとうございました。

実施主体	和水町担い手育成総合支援協議会	調査票配布数	1,000枚
調査期間	平成23年12月16日～平成24年1月20日	調査票回収数	415枚
調査対象	町内の水稻作付け農家	調査票回収率	41.5%

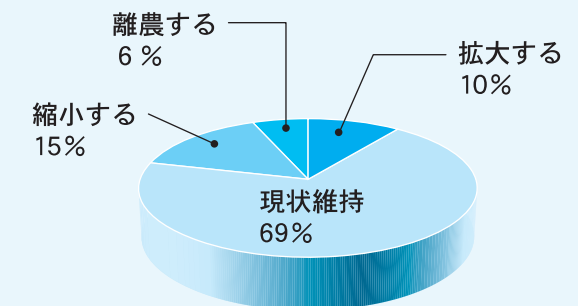
アンケート調査結果速報



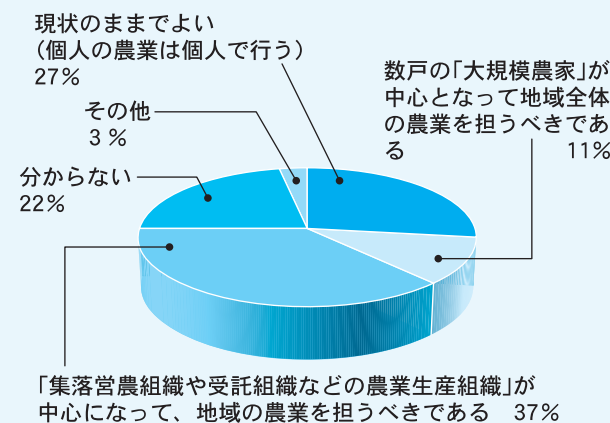
○水稻作付者年齢比率



○あなたの将来(5年程度先)の水田経営はどうしたいですか？

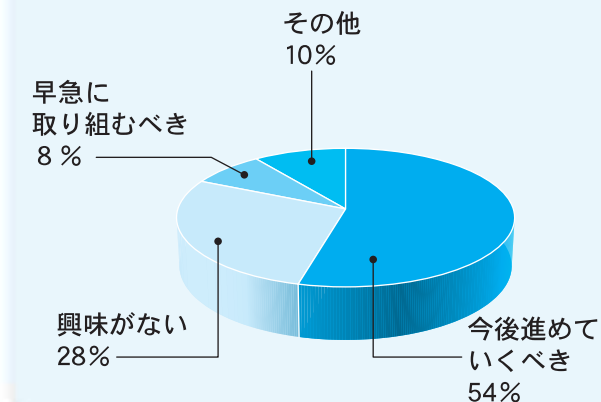


○地域(集落)全体の営農の将来(5～10年先)についての考えをお聞かせください。



- 『その他』の内容
- 「後継者不足・条件が悪い・集約化不適地」であるため、今後は放棄地が増加していくのではないだろうか
 - 基盤整備が進めば、高齢でもがんばることができる(現状では手間がかかる)
 - 営農組織等が設立されればよいが、農地への執着心が強いので、難しいのではないだろうか
 - 収益面だけでなく、有害鳥獣対策なども考えないと地域は荒廃してしまう
 - 息子が定年したら、家を継がせたい

○集落営農組織についてあなたはどのように考えますか？



- 『その他』の内容
- JAに受託部門を設けてもらいたい
 - 集落営農組織のことがよく理解できていない
 - 若い人のほとんどが会社勤めなので、組織するのは難しい
 - 取り掛かりが遅い(既に手遅れである)
 - 個人主義が多く、集落内での話し合いがまとまらない
 - まだ自分達の回りはそういう状況にない